

Close up だて



伊藤さん(右)と『いのちの講話』を伊達の中高生に届ける会』会長の工藤さん



子どもたちに大好況だった「放課後CLUB」の『昔あそび』

— 悩めるお母さんの道標に —

つどいサークルドロップ

代表 **伊藤成子**さん

子育てを通じて人と人がつながる場所を提供し、子どもが育つお手伝いも成長でき、地域が支えられる。伊達がそんなまちになってくれることが私たちの願いです」と話してくださいるのは、「つどいサークルドロップ」代表の伊藤成子さんです。

「話せる人がそばにいる、聞いてくれる人がそばにいる」。そんなごく当たり前な子育て環境が時代の変化とともに失われていく現代。伊藤さんが実際に体験し、今も多くの母親が感じている孤独や不安を解消できないかと考え、平成14年に有志で設立した『だて子ども会議』が前身。平成16年に現在の名称に変更し、翌年から市教育委員会が主催し、地域の方々の協力を得ながら小学生にさまざまな体験の場を提供する『放課後CLUB』

UB(平成23年度終了)の実質的な運営を担当してきました。今年からドロップの活動はさらにその裾野を広げます。

「ドロップ教室を年4回開催するほか、昨年10月に初めて開催し、参加者からの反響が大きかった講演会『いのちの講話』をきっかけに、親が性教育として「命の大切さ」を子どもにはっきりと伝えて欲しい」と活動を続けるNPO「いのちの応援舎」の山本文子代表を再び講師に招き、市内の中・高校生を対象に講演会を開催しようとする賛同金の募集を始めました。

「こんなサークルはどこにもありません。取り組みが周囲の人に理解されないこともありませんが、『地域づくり』には欠かせないと信じています」と伊藤さんは力強く話してくれました。

ドロップ教室「茶道ってなあに？」

伊達高校茶道部の皆さんと一緒に、お茶とお菓子を楽しみませんか。

日時 8月20日(月)午後4時～5時
場所 カルチャーセンター
参加費 無料

—今後の「ドロップ教室」開催予定—

10月4日(木)
平成25年1月
3日

ポスターなどでお知らせします。
遊びに来てね。

だて

発行・編集 伊達市企画財政部企画課
☎ 0142-23-3331 内線238・239
FAX 0142-23-4414
✉ kouhou@city.date.hokkaido.jp
〒052-0024 北海道伊達市鹿島町20番地1

楽 画 記

■夏到来!でも僕の趣味「スキー」の業界は早期受注会と称して新商品の購入予約受付本番…会場には日本屈指のスキーヤーが商品のPRIに全国から大集結。物珍しさでこの場に行くといつも感じること、全員(雪)焼けした顔、爽やかな笑顔、白い歯。これってスキーヤー「3種の神器」?!(じ)

■夏、この数年本州へ旅行機会があった私。けれど運が悪いのか相性が悪いのか、いつも気候に悩まされます。ある年はその年一番の真夏日で体調不良、翌年2年連続で台風が直撃し交通機関遅延…。そして今年も本州へ。3度目の正直ならぬ4度目の正直とならないものでしょうか…。(よ)

■テレビっ子な私はラジオを聴く習慣がありません。結婚祝いでいただいたアンティーク調のラジオも出番がなく納戸の隅に追いやられたまま十数年。が、今回のFMびゅう伊達局開局をきっかけにやっと陽の目をみる事に。へそを曲げずにちゃんと音を出してくれるといいのですが…(や)